公益財団法人日本スポーツ仲裁機構
２０２２年度 第２回臨時理事会議事録

日　　時　２０２３年1月１８日（水）　１０：３０～１１：１５
場　　所　公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（オンラインにて開催）
理事総数　１３名
出　席　者　理　事　浅川伸、泉正文、伊東卓、沖野眞巳、小幡（成瀬）純子、
（全員オンラインで出席）　高杉重夫、竹下啓介、田口亜希、藤原正樹、八木由里、山本和彦
（１１名）
監　事　川原貴、辻居幸一
事務局　髙杉重夫、小川和茂、竹内映
欠　席　者　佐藤（塩口）直子、玉川敏彦
議事録作成者　髙杉重夫（事務局長）

２０２２年度第２回臨時理事会は、定款第４０条第１項及び第４１条に基づき２０２２年１２月２３日に電磁的方法をもって招集された。山本代表理事より、定款４２条第１項の規定に従い、議決に加わることのできる理事１３名中１１名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨及び出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意思表明ができることを確認した。

【議決事項】第１号：スポーツ仲裁・調停等事業専門員の契約条件等の件（資料１）
髙杉理事より資料１に基づき説明があり、山本代表理事より補足説明があった後、全会一致で承認可決した。

【報告事項】第１号：２０２２年度事業報告（中間報告）の件（資料２、３）
伊東理事、泉理事、八木理事、髙杉理事より資料２、３に基づき報告があり、山本代表理事から補足説明があった。

【報告事項】第２号：その他
髙杉理事より事務所移転先候補について報告があり、山本代表理事より補足説明があった。

【質問、意見及びその他報告事項等】
【議決事項　第１号について】
八木理事：仲裁調停専門員の契約更新条件なのか、新規契約の条件なのか。
髙杉理事：継続、新規どちらの条件でもある。

【報告事項　第１号について】
泉 理 事：スポーツ庁委託事業・スポーツ仲裁制度の在り方に関する調査の有識者会議が発足したとのことだが、メンバーはすでに発表されているのか。
髙杉理事：メンバーについては、ほぼ確定している。学者が中心。

藤原理事：自動応諾条項採択状況について。
ＪＰＳＡ、ＪＰＣ加盟団体の採択率が低いが、未回答の団体についても適合性審査の関係で自動応諾条項採択している団体がほとんどであると思われる。次回の調査で採択率が上がらないようであれば、ＪＰＳＡからも下部団体へ働きかけをしたい。

浅川理事：スポーツ界は世界的な状況を反映しつつ動いており、海外機関との連携は非常に重要である。ぜひこれからも継続していただきたい。

山本代表理事：仲裁事案がかなり増加してきている。地方組織との関係での案件が多くなってきている印象。

小幡理事：バドミントン関係の取消訴訟の結果について。
髙杉理事：ＪＳＡＡが下した仲裁判断の取り消しを認めないとの判断が出され訴訟は終了し、日本バドミントン協会は自動応諾条項に復帰している。

【報告事項】第２号：その他
泉理事　：ＳＰＯＲＴＳ ＯＬＹＭＰＩＣ ＳＱＵＡＲＥには、シェアオフィスもあるのでそこも検討したらよい。

なお、オンラインによる本理事会は通信システムの異常なく終了した。

以上

配布資料
資料１　スポーツ仲裁・調停等事業・専門員の契約条件等について
資料２　２０２２年度事業報告（中間報告）
資料３　ＪＳＡＡ取扱事案数
資料４　役員名簿

上記の通り相違ありません。

２０２３年2月１日

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理事会

議長：　山　本　和　彦　/s/

監事：　川　原　貴　/s/

監事：　辻　居　幸　一　/s/